



## 平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年7月27日

上場会社名 リリカラ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9827 URL <https://www.lilycolor.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 俊之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 佐藤 伸男 TEL 03-3366-7845  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年12月期第2四半期の業績（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	16,239	△0.4	△188	—	△215	—	△212	—
29年12月期第2四半期	16,311	△1.8	△70	—	△110	—	△80	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	△17.31	—
29年12月期第2四半期	△6.58	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
30年12月期第2四半期	18,920	5,877	5,877	6,100	31.1	33.6
29年12月期	18,158	6,100	6,100			

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 5,877百万円 29年12月期 6,100百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	0.00			
30年12月期（予想）			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年12月期の業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	5.8	390	273.4	310	645.8	120	—	9.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期2Q	12,662,100株	29年12月期	12,662,100株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	367,113株	29年12月期	366,391株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期2Q	12,295,334株	29年12月期2Q	12,296,677株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件等については、P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2 四半期累計期間におけるわが国経済は、引き続き企業の設備投資や雇用環境は穏やかな回復基調で推移しているものの、米国の保護主義的政策への懸念、中東等の地政学的リスクの高まり等、先行きは不透明感が増しております。

インテリア業界におきましては、重要な指標である新設住宅着工戸数は、4月からようやく前年同水準で推移しているものの、力強さは窺えず、予断を許さない状況となっております。

この様な環境のもとで、当社の売上高は前年同期比0.4%減の16,239百万円、営業損失は188百万円（前年同期は営業損失70百万円）、経常損失は215百万円（前年同期は経常損失110百万円）、四半期純損失は212百万円（前年同期は四半期純損失80百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### ① インテリア事業

壁装材は3月に上質な空間づくりを実現する、リリカラのハイグレード・コレクション“リリカラ マテリアルズ”を新規発行、5月に新築・リフォーム・リノベーションなど住まいの様々なシチュエーションに対応する全点準不燃の住宅向け壁装材見本帳“V-ウォール”、下地の凸凹が目立ちにくい商品を100点厳選して収録し、きれいな仕上がりは、リフォームだけでなく新築にもおすすめの壁装材見本帳“らくらくリフォームPREMIUM”を発行した他、壁装材見本帳“ウィル”、“ライト”、カーテン見本帳“ファブリックデコ”、床材見本帳“クッションフロア”、“エルワイタイル”等を増冊発行し拡販に努めましたが、売上高は前年同期比7.1%減の12,697百万円となり、セグメント損失は292百万円（前年同期はセグメント損失52百万円）となりました。

#### ② スペースソリューション事業

顧客企業のリニューアル、リノベーション、移転等に対する投資意欲の回復、顧客企業に対するより細やかなサービスの提供に努め、売上高は前年同期比34.0%増の3,542百万円となり、セグメント利益は104百万円（前年同期はセグメント損失17百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第2 四半期会計期間末の総資産は前事業年度末比761百万円増の18,920百万円となりました。

流動資産は前事業年度末比760百万円増の14,311百万円となりました。これは主に電子記録債権の増加（676百万円）によるものであります。固定資産は前事業年度末比0百万円増の4,608百万円となりました。

負債総額は前事業年度末比984百万円増の13,042百万円となりました。流動負債は前事業年度末比1,364百万円増の11,983百万円となりました。これは主に短期借入金の増加（659百万円）、固定資産購入等支払手形（「その他」）の増加（437百万円）、支払手形及び買掛金の増加（288百万円）によるものであります。固定負債は前事業年度末比380百万円減の1,058百万円となりました。これは主に社債の減少（197百万円）、長期借入金の減少（162百万円）によるものであります。

純資産は前事業年度末比222百万円減の5,877百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少（212百万円）によるものであります。なお、自己資本比率は31.1%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の業績予想につきましては、平成30年2月9日に開示しました「平成29年12月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」からの変更は行っておりません。

なお、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第2 四半期会計期間 (平成30年6 月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,966,367	3,805,063
受取手形及び売掛金	5,374,426	5,366,950
電子記録債権	268,370	944,560
商品	2,453,773	2,822,944
その他	1,489,409	1,374,724
貸倒引当金	△1,546	△2,732
流動資産合計	13,550,801	14,311,511
固定資産		
有形固定資産	1,342,649	1,224,297
無形固定資産	38,099	72,849
投資その他の資産		
差入保証金	1,767,999	1,770,173
その他	1,515,406	1,599,344
貸倒引当金	△56,463	△58,000
投資その他の資産合計	3,226,942	3,311,518
固定資産合計	4,607,692	4,608,665
資産合計	18,158,493	18,920,176
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,699,602	8,987,696
短期借入金	273,500	933,167
1年内償還予定の社債	195,000	295,000
1年内返済予定の長期借入金	380,860	343,410
未払法人税等	67,948	60,801
賞与引当金	93,437	150,959
その他	909,182	1,212,954
流動負債合計	10,619,530	11,983,988
固定負債		
社債	497,500	300,000
長期借入金	458,050	295,420
退職給付引当金	309,890	282,859
資産除去債務	63,868	64,465
その他	109,642	116,057
固定負債合計	1,438,951	1,058,802
負債合計	12,058,482	13,042,791

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,335,500	3,335,500
資本剰余金	2,362,793	2,362,793
利益剰余金	343,342	130,449
自己株式	△60,429	△60,573
株主資本合計	5,981,206	5,768,169
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	118,805	109,215
評価・換算差額等合計	118,805	109,215
純資産合計	6,100,011	5,877,384
負債純資産合計	18,158,493	18,920,176

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	16,311,340	16,239,902
売上原価	12,034,099	12,185,482
売上総利益	4,277,240	4,054,420
販売費及び一般管理費	4,347,539	4,242,438
営業損失(△)	△70,299	△188,018
営業外収益		
受取利息	708	679
受取配当金	4,005	4,322
不動産賃貸料	10,890	10,555
その他	3,102	2,807
営業外収益合計	18,705	18,363
営業外費用		
支払利息	11,711	8,166
手形売却損	16,853	13,144
電子記録債権売却損	9,608	8,979
不動産賃貸費用	10,713	11,201
その他	10,455	4,843
営業外費用合計	59,342	46,334
経常損失(△)	△110,935	△215,989
特別利益		
固定資産売却益	—	20,388
差入保証金返還益	19,000	—
独占禁止法関連引当金戻入額	55,890	—
特別利益合計	74,890	20,388
税引前四半期純損失(△)	△36,045	△195,600
法人税、住民税及び事業税	27,547	26,307
法人税等調整額	17,314	△9,014
法人税等合計	44,862	17,292
四半期純損失(△)	△80,908	△212,893

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△36,045	△195,600
減価償却費	52,058	19,897
ソフトウェア償却費	31,086	12,238
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20,739	2,723
賞与引当金の増減額(△は減少)	757	57,522
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△29,969	△27,031
独占禁止法関連引当金の増減額(△は減少)	△77,000	—
受取利息及び受取配当金	△4,713	△5,001
支払利息	11,711	8,166
固定資産売却損益(△は益)	—	△20,388
差入保証金返還益	△19,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	534,693	△668,713
たな卸資産の増減額(△は増加)	△439,662	△335,405
前渡金の増減額(△は増加)	—	286,047
未収入金の増減額(△は増加)	52,814	61,817
長期・前払見本帳費及び見本帳製作仮勘定の増減額(△は増加)	150,208	△314,272
破産更生債権等の増減額(△は増加)	31,603	△1,536
差入保証金の増減額(△は増加)	△2,359	△2,156
仕入債務の増減額(△は減少)	3,684	288,094
未払金の増減額(△は減少)	△50,475	76,187
未払消費税等の増減額(△は減少)	△72,890	△143,907
前受金の増減額(△は減少)	400,974	△132,487
固定資産購入等支払手形の増減額(△は減少)	50,203	437,852
その他	33,259	23,952
小計	600,197	△572,003
利息及び配当金の受取額	4,119	4,607
利息の支払額	△11,581	△8,271
法人税等の支払額	△79,650	△22,055
営業活動によるキャッシュ・フロー	513,085	△597,723
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,740	△8,314
有形固定資産の売却による収入	—	133,212
無形固定資産の取得による支出	△1,470	△3,744
投資有価証券の取得による支出	△4,323	△4,333
貸付金の回収による収入	3,300	3,300
差入保証金の差入による支出	△1,286	△2,375
差入保証金の回収による収入	28,057	2,358
保険積立金の積立による支出	△5,505	△6,105
その他	△1,414	△1,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,617	112,851

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	650,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	△277,200	△340,333
長期借入金の返済による支出	△339,980	△200,080
社債の発行による収入	394,165	—
社債の償還による支出	△92,500	△97,500
リース債務の返済による支出	△60,715	△38,375
自己株式の取得による支出	△39	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー	273,731	323,567
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	798,434	△161,304
現金及び現金同等物の期首残高	3,596,046	3,966,367
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,394,480	3,805,063

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。